

赤池ひろもと 後援会だより No.9



<挨拶>

新しい年を、皆さまと笑顔で迎えられることを心からうれしく思います。日々のあいさつや何気ない会話が、地域の安心や支え合いにつながっていることを、改めて感じています。本年も、現場に足を運び、声を聴き、笑顔と会話の絶えない地域づくりに全力で取り組んでまいります。



@AKAIKE_HIROMOTO



ホームページ

2026.1.20 発行

◆赤池ひろもと後援会事務所：富士宮市万野原新田 3377-7

発行責任者：佐々木 知

電話番号：0544-23-7850



キー坊一だよ

赤池ひろもと マスコットキャラクター

富士宮市のフジ桜、カエデ、ヒバリ、がいるよ！

「冬じたくは、人もまちも、あたたかい心づくりから、コツコツと。」

11月議会より補正予算の紹介です

今回の歳入において国庫支出金（学校施設環境改善交付金△70,163千円

●なぜ今年度は交付金が“降りてこなかった”のか？

東小学校校舎改築に関する国の補助金は、今年度は、国の配分条件に合わず採択されませんでした。しかし事業は継続しており、来年度以降に必要な補助金が採択される可能性も十分あります。不足分は市の基金や市債で対応し、子どもたちの教育環境整備が停滞しないよう調整されています。

今後、補助金が採択されれば、市の財政負担が軽減され、計画通りの改築が進みます。議会としても、工事の進捗と財源への影響をしっかりと確認しながら、子どもたちに安全で快適な学びの場が整うよう見届けてまいります。

<ひろもとの一口講座> 第6回)

産後ケアとつながる「病児保育」について (Q&A)

Q1. 病児保育とは何ですか？

A. 病気や回復期で保育園に通えないお子さんを、保護者が仕事などで休めない場合に一時的に預かる保育サービスです。

Q2. なぜ、病児保育が必要なのでしょう？

A. 子どもの急な体調不良は、家庭に大きな負担となります。病児保育は、家庭の子育てを社会が支えるための仕組みです。

Q3. 富士宮市では、どのような病児保育が行われていますか？

A. 富士宮市では、大宮保育園において、市の事業として病児・病後児保育が実施されています。

◎ ひろもとコメント

子どもが困ったときに親が向き合うことは、子育ての基本であり、とても大切なことです。一方で、仕事や体調などの事情から、すべての家庭が常に無理なく対応できるとは限らない現実もあります。

病児保育は、親の役割を代わるものではなく、親が安心して子育てを続けられるよう、社会がそっと支える仕組みです。こうした支援を上手に活用しながら、家庭と社会が支え合う子育て環境を整えていくことが大切だと考えています。



知らなかった… 産後ケアってこんなに大事！



● 「生んでよし」を、実感できるまちへ

富士宮市は「生んでよし 育ててよし」のまちを掲げています。市の答弁から、富士宮市民の出産のうち約半数は市立病院、約4割は富士市の医療機関で行われていることが分かりました。

富士宮市立病院は、年間約550件の分娩に対応できる体制があり、医師と助産師が連携した安心の医療、緊急時にも対応できる総合病院としての強み、さらに出産費用が全国平均より約9万円安いという大きなメリットがあります。それにもかかわらず、市外での出産が一定数ある背景には、医療体制そのものよりも、「病院が古いのでは」「費用が分かりにくい」「普通の出産もできると知らなかった」など、情報が十分に伝わっていないことが影響していると感じました。だからこそ、出産費用、医療体制、入院中の環境が、一目で分かる形で示されることが重要です。情報が分かりにくいだけで市外を選んでしまうのは、とてももったいないことです。

市立病院では今後、SNSを活用した情報発信を進めるとの答弁がありました。私は、妊婦さんの目線に立った分かりやすい案内ページの改善と、体制の「見える化」を、引き続き強く求めていきます。



藩の陣屋として成り立った清水・小島陣屋跡に行ってきた。天領地として、そして浅間神社とともに歩んだ富士宮。小島陣屋跡に立ち、富士宮の歴史的な特異性をあらためて感じました。(国の史跡)

<あとがき>

新しい年のはじまりに、日頃より赤池ひろもとを支えてくださっている皆さまへ、心より感謝申し上げます。

本年も、地域に寄り添う活動を、あたたかく見守っていただければ幸いです。

後援会会長 佐々木 知